

# 視聴覚教育

NO. 308

発行日

16.12.6

発行

岡崎市AVL

編集

現職教育委員会

学習情報部

## 第8回視聴覚教育総合全国大会

(東京大会)に参加して

学習情報指導員 名倉 嘉章

平成16年度第8回視聴覚教育総合全国大会(東京大会)が、11月29日(月)・30日(火)、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて開催された。「ネットワーク社会における、新たな視聴覚教育の展開を探ろう」を大会主題に、視聴覚教育関係5団体が集まって実施された。大会1日目は、全国自作視聴覚教材コンクール表彰式をはじめ、元文部科学大臣の遠山敦子氏の記念講演、衛星通信を利用した「地域ネットワークの運用」に関するパネルディスカッションが行われた。2日目は、11に及ぶ分科会での研究討議が行われた。

表彰式では、文部科学大臣賞を受賞した「日本の灯りを守る 和ろうそく作り」制作グループを代表して、美合小学校の倉地耕治教諭が表彰されたのをはじめ、優秀賞を受賞した3グループの代表がそれぞれ表彰された。

パネルディスカッションでは、地域ネットワークを構築し、教育分野で積極的に活用している4地域の代表が事例発表を行い、その効果、

**視聴覚用語**  
**「シェアウェアソフト」**  
 ソフトウェア流通の1つの方式。料金を支払う前にそのソフトウェアを一定期間試用することができ、気に入った場合以後から料金を支払うというしくみ。

課題などについて討議が行われた。特に、市町村情報をコーディネートし、「知」のデジタルライカイブスを構築した岐阜県生涯学習センターの取り組みや、つくば市教育委員会の「学校の枠を超えた学校間協同学習プロジェクト」の提案は非常に興味深く、岡崎市でも取り入れたい内容が多くあった。

「自作視聴覚教材」分科会では、今年度も全国で高い評価を受けた岡崎市の制作の様子について、各地のセンター・ライブラリー関係者や制作者から質問が相次いだ。自分たちの活動の歩みの確かさを実感するとともに、関係者の注目を浴びているだけに、一層の精進が必要であることを痛感した。

メディアを学びの中でどう活用し、子供たちが、飛び交う情報の中で適切な選択をできるよりにすること、視聴覚教育が担うべき役割はさらに増していることを実感した2日間であった。



### 「視聴覚あれこれ」

#### 子どもビデオ教室おかさき「始まる」

平成16年度文部科学省「子どもの居場所作り新プラン 地域子ども教室推進事業」における「子どもビデオ創作教室」事業を岡崎市の視聴覚ライブラリーが受け、「子どもビデオ教室おかさき」を開校した。第1回は、12月4日(土)に六ツ美北部小学校で行った。

希望者20名が、シナリオ作り、デジタルビデオカメラでの撮影、コンピュータのノンリニア編集を行った。第2回以降の教室についても、3学期に計画している。

#### パソコン教室更新と校内LAN整備

平成16年度のパソコン教室の更新、および校内LANの整備が完了した。設置校は、次の学校である。

- ・ パソコン教室の整備(井田小・藤川小)
- ・ 校内LANの設置

(矢作西小・小豆坂小・北野小)

井田小および藤川小については、パソコン教室における一人一台の環境が整い、これで岡崎市内全ての小中学校での整備が完了した。

また、校内LAN設置の3校については、計130台のノートパソコンが導入された。認証キーをパソコンのUSB端子に差し込むことで、ネットワークを切り替える仕組みも整えられた。大事なデータを扱う時は、それを差し込んでから操作することで、手軽に質の高いセキュリティを確保することができるようになっていく。

## 「実践報告」

### パワーポイントで情報交換会

岡崎市立矢作西小学校 畑 小普

総合的な学習の時間で、学区を流れる川「鹿乗川（かのりがわ）」について子供たち一人一人が課題を持って調べていった。子供たちの追究が深まったところで、情報を共有する機会「情報交換会」を開いた。

子供たちのパソコンに対する興味・関心は非常に高く、キーボードの操作も慣れてきている。そこで、他の友達に分かりやすく発表する方法として、パワーポイントを利用した。最初に、簡単なマニュアルを配っただけであったが、子供たちはマニュアルを参考にスムーズに写真や見出し、文章を入れる作業を行うことができた。

「情報交換会」当日の、子供たちの手によるプレゼンテーション資料は、写真の配置や文字の使い方に工夫して要点をまとめた、わかりやすい資料となった。また友達の間で内容を発表の仕方よさを伝えるよい機会ともなった。

子供たちのパソコンへの順応性は高く、より高度な機能に挑戦する姿勢も出てきた。音声や動画ファイル、アニメーション機能など、一層表現力を高めることができると考えている。

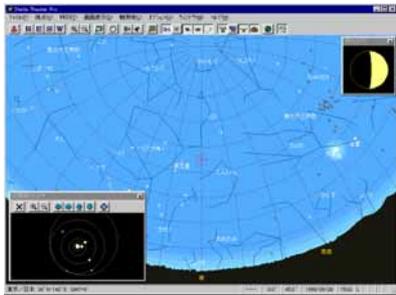


## 「レットトライ」 天体シミュレーションで いつでも星空を

星の動きを学習するときに、どうしても子供たちに説明しづらいときがある。家での観察も天気に左右されるため、模型を使って動きを説明したり・・・

今、本校の理科教員に好評なソフトは、天体シミュレーションのシェアソフト「Stellarium」である。

インターネットからダウンロードして3か月間なら無料で使用できる。日時・場所・角度を自由に設定し、あらゆる星空をパソコン画面上に映し出すことができ、本来なら実際に見ることのできない昼間の星空も見る事ができる。さらに、自動モードでゆっくりと星空を動かしたり、マウスで思い通りに画面を動かしたりできるので、星の日周運動や年周運動の学習がとてわかりやすい。月の動きや満ち欠け、惑星の動きも学習できるので、これ1つで天体の学習がほとんど網羅されている。シミュレーションのよさを生かして、子供たちも、本来見えていないはずの星空を画面に映し出しながら生き生きと学習している。



（竜海中学校 学習情報主任 佐渡英彰）

## ライブブライデーだよ

ふるさと岡崎メディアアコンクール

しめ切り迫る 12月10日(金)

第2回「ふるさと岡崎メディアアコンクール」のしめ切りが、迫ってきました。

日頃から取りためている貴重な映像をぜひ作品として、また、学校教育の場でちよつとした教材として利用した作品を、ぜひ応募して下さい。



【しめ切り 12月10日(金)】

郵送の場合・・・当日の消印有効

持参の場合・・・午後5時15分まで

【応募先】岡崎市視聴覚ライブラリー

〒444-8601

岡崎市菅生町1丁目3番地1

(情報ネットワークセンター3階)

電話 23,6789

詳しい募集要項などは、視聴覚ライブラリーまで。また、ホームページをご覧ください。

### 親子映画会の開催のお知らせ

幼児、小学生の皆さんとおうちの方がみんな楽しんでいただけるよう、親子映画会を開催します。

12月12日(日) 中央市民センター

第1回 午前10時～11時30分

第2回 午後1時30分～3時

上映映画

「からのパンやさん」

「ぎろろんやまと10ぴきのかえる」

「サンタさんは大いそがし」